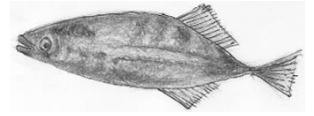


くまがや市民ネット準備会通信



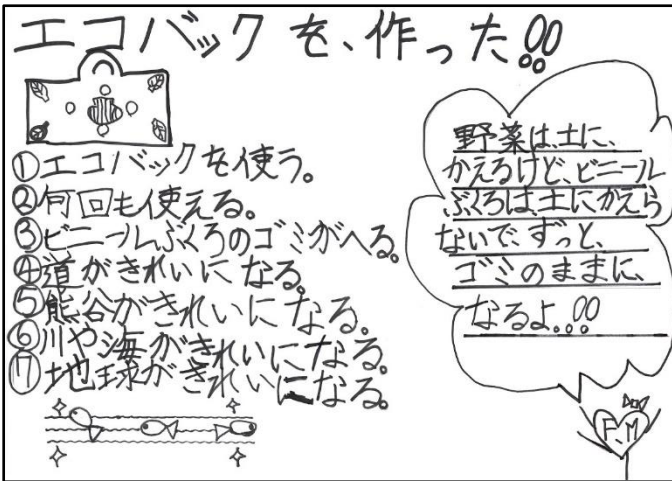
生活クラブ運動の立ち上げ支援を受けています。

2022年6月27日発行 第5号

熊谷市に生活者の声を届けようと準備をするのもあと10カ月です。初めてのことなので難しいのですが、できる限りのことをしようと思います。

エコバッグを作ったよ！

娘がイベントでエコバッグを作ってきました。お友達と一緒に作れてウキウキ♪ そこで「エコバッグを使うとどんな良いことがあるのかな？」と一緒に考えてみました。今やエコバッグを持って買い物に行くのが当たり前になりつつありますが、少し前はビニール袋をもらうのが当たり前でした。



さらに問いかけをしました。

「トマトを土の上に置いたらどうなる？」

土に還りますね。

「ビニール袋を土の上に置いたらどうなる？」

土に還らないですね。

この当たり前に気づいているかどうかでその先の行動が変わるのではないのでしょうか。当たり前に疑問を持ち、「なんでだろう？」、「じゃあどうしたらいいのかな？」を大人も子どもも一緒に考え行動していける社会にしていきたいですね。(深作)



ダンボールコンポストの堆肥から

〇〇が?!

ダンボールコンポストでできた堆肥を庭の畑に撒いてから3か月が経ちました。今年はこの畑でどんな野菜を育てようかなとワクワクしていましたが、雑草ではない何かが元気よく芽を出しました。



カボチャとトマトです！ コンポストに入れた種から発芽したようです。あちこちから伸びた芽はどんどん成長して花が咲いています。子どもたちは水をあげたり、学校から帰るとすぐに畑へ走ったりして野菜たちの成長を毎日楽しみにしています。

今まで生ゴミとして捨てていた野菜から堆肥ができて、その堆肥からできた野菜を食卓でいただく。これが生命の循環であることを直に感じる事ができる、本当に素敵な経験です。経験からの学びが一番！ (深作)

こんなことってある？

6月3日、万吉の畑に集まった畑仲間はびっくり。



トウモロコシもナスもキュウリも消えていた。花をつけたジャガイモもズタズタになぎ倒され、引き抜かれていた。雑草さえ生えていない。前日の異常な豪雨と突風と雹の仕業なのだ。もう一度種まきし、植え直しをやるしかない。農業をなりわいに行っている農家に思いをはせる。刈り取るばかりの麦や江南地区で力を入れているブルーベリーもやられてしまった。異常気象だね、だけではすまされない。「どうなっているのだ？」、「どうすればいいのだ？」ミサイルでは解決できないことだけは分かっている。

(清水洋子)

こんなことになるとは！

モンサント社の除草剤(ラウンドアップ)で大儲けしようと2018年に同社を買収したバイエル社は、儲けるどころか頭を抱えることになった。ラウンドアップを使用してきた米国の農家が次々とラウンドアップが原因でガンになったと訴訟を起こしたからだ。いずれの裁判にも敗訴したバイエル社は2020年、和解金として日本円にすると最大で約1兆1600億円を支払った。そのラウンドアップを日本では堂々と販売している。畑だけではない。道端や公園、遊園地でも散布されている。ラウンドアップ(主成分はグリホサート)が健康にも環境にも大変な害を及ぼすことを知らされていないからなのだ。どうして知らされないのだろうか。どうなっているのだ？ こんなことでいいのか？

(清水洋子)

会員になってください！

毎日の食べ物、子どもの教育、ゴミの問題、医療や介護の問題、長時間労働など私たちは様々な不安や疑問を抱えています。そうした声を熊谷市に届けたいと私たちは活動しており、一緒に取り組んでいただける方を募集中です。できる範囲で構いません。お気軽に欄外の連絡先までお問合せ下さい。

アンケートのお願い

くまがや市民ネットワーク準備会では、熊谷市にゆかりのある方に、熊谷市がこんな風になってほしいとか、ここに問題を感じているなど自由なご意見を募集しています。右の二次元コードのリンク先、あるいはメールで送っていただくか、以下の欄にご記入の上でFAXしてください。



(FAX用) 宛先:050-3737-3422

希望する熊谷市の将来像や問題、不安を感じていることを自由にお書きください。

よろしければ連絡先をお書きください。氏名: _____

電話番号: _____ メールアドレス: _____

連絡先:メール:higashi@ja2.so-net.ne.jp

電話:070-5551-7734(ひがし)